

2019年2月期(第41期) 決算説明会

2019年4月11日

 イオン北海道株式会社

2018年度 通期の業績

A horizontal bar with a pink-to-white gradient is positioned below the title.

通期業績

震災影響の消費マインドの低迷により、減収減益

単位：億円

通期実績

前期差

公表差

上期実績

下期実績

売上高

1,857

▲9

前期比99.5%

▲44

公表対比97.7%

916

前期対比
100.0%

941

前期対比
99.1%

営業利益

82

売比4.4%

▲3

前期比95.7%

▲4

公表対比94.5%

31

公表対比
98.8%

51

公表対比
92.1%

経常利益

81

売比4.4%

▲4

前期比94.7%

▲3

公表対比95.8%

30

公表対比
100.3%

50

公表対比
93.3%

当期純利益

39

売比2.1%

▲25

前期比61.4%

▲8

公表対比82.9%

19

公表対比
108.7%

20

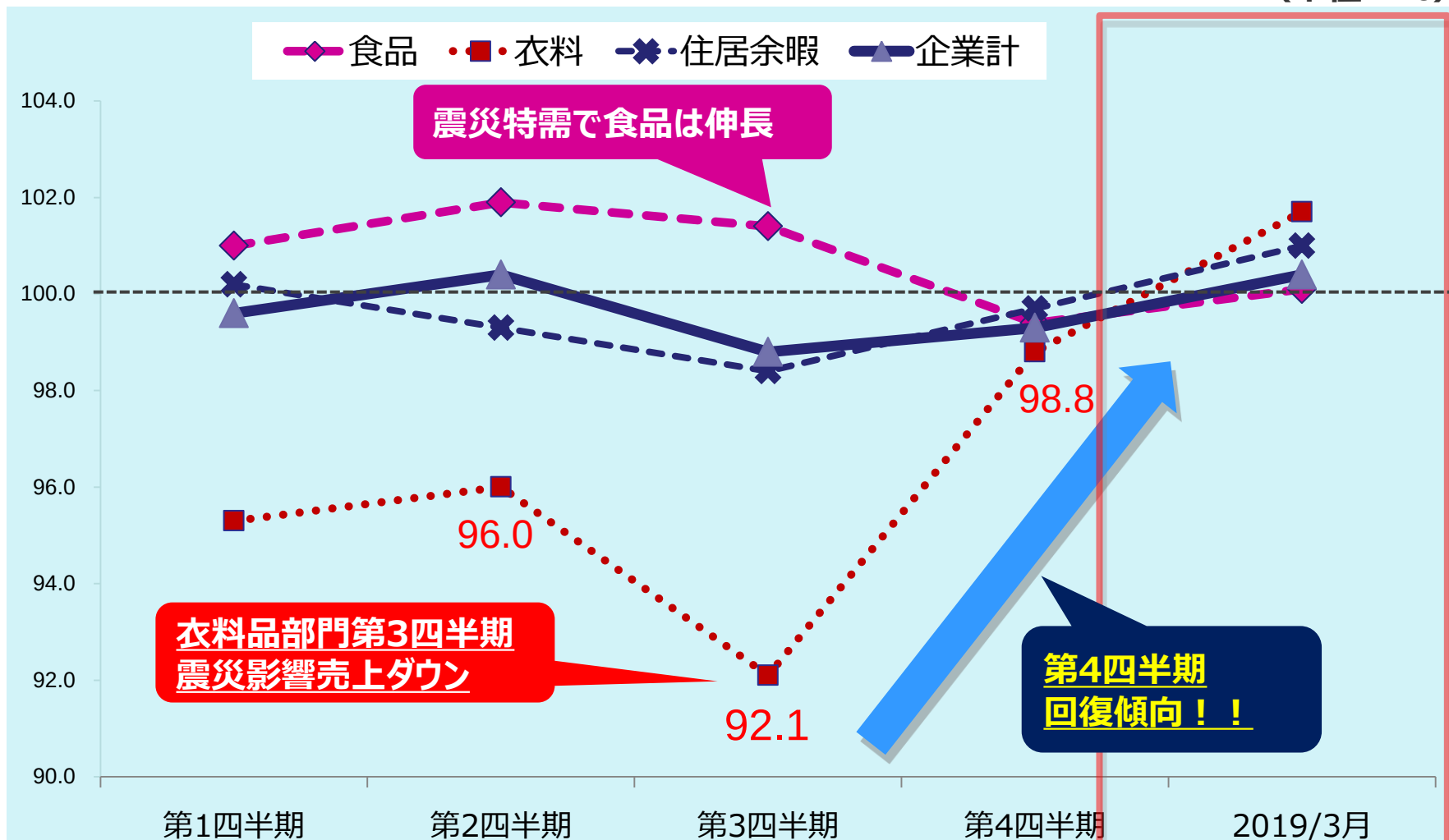
公表対比
68.1%

上期はほぼ計画通り

通期業績（売上高前年同期比の推移）

食品は8年連続の伸長、衣料は第4四半期に売上回復

（単位：％）



通期業績（売上高総利益率）

売上総利益率は過去最高率 27.7% +0.2ポイント改善
売上総利益額は1億8百万円増加

（単位：百万円/%）

	売上総利益 前期比	売上総利益 増減額	売上 総利益率	改善率	2017年 通期	2016年 通期
衣料	95.8	▲564	38.3	+0.1	+0.1	+0.6
食品	102.0	+568	25.0	+0.3	+0.3	+0.5
住余	101.2	+113	27.4	+0.5	▲0.2	+0.6
会社計	100.2	+108	27.7	+0.2	+0.1	+0.5

通期業績（販管費）

- ・将来にむけたデジタル・設備投資を積極的かつ計画的に実施
- ・高騰する人時コスト・光熱費コスト増を吸収

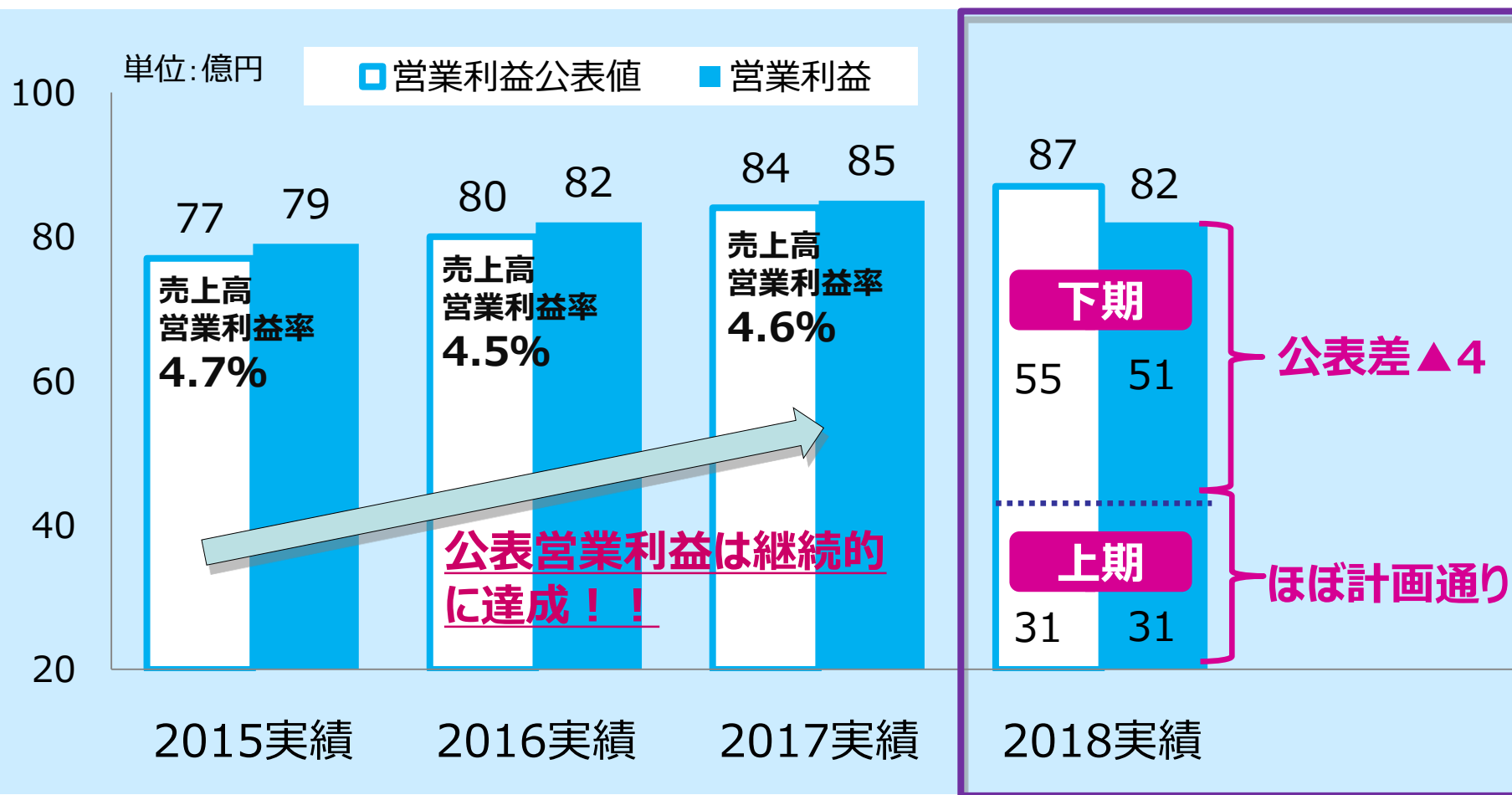
（単位：百万円/%）

	実績	前期比	増減額	売比	売比 前期差
人件費	25,861	100.6	+147	13.9	+0.1
販促費	8,646	98.0	△174	4.7	△0.1
設備費	22,505	101.0	+224	12.1	+0.2
一般費	4,744	102.5	+116	2.6	+0.1
販管費 合計	61,758	100.5	+312	33.2	+0.3

通期業績（営業利益の公表差）

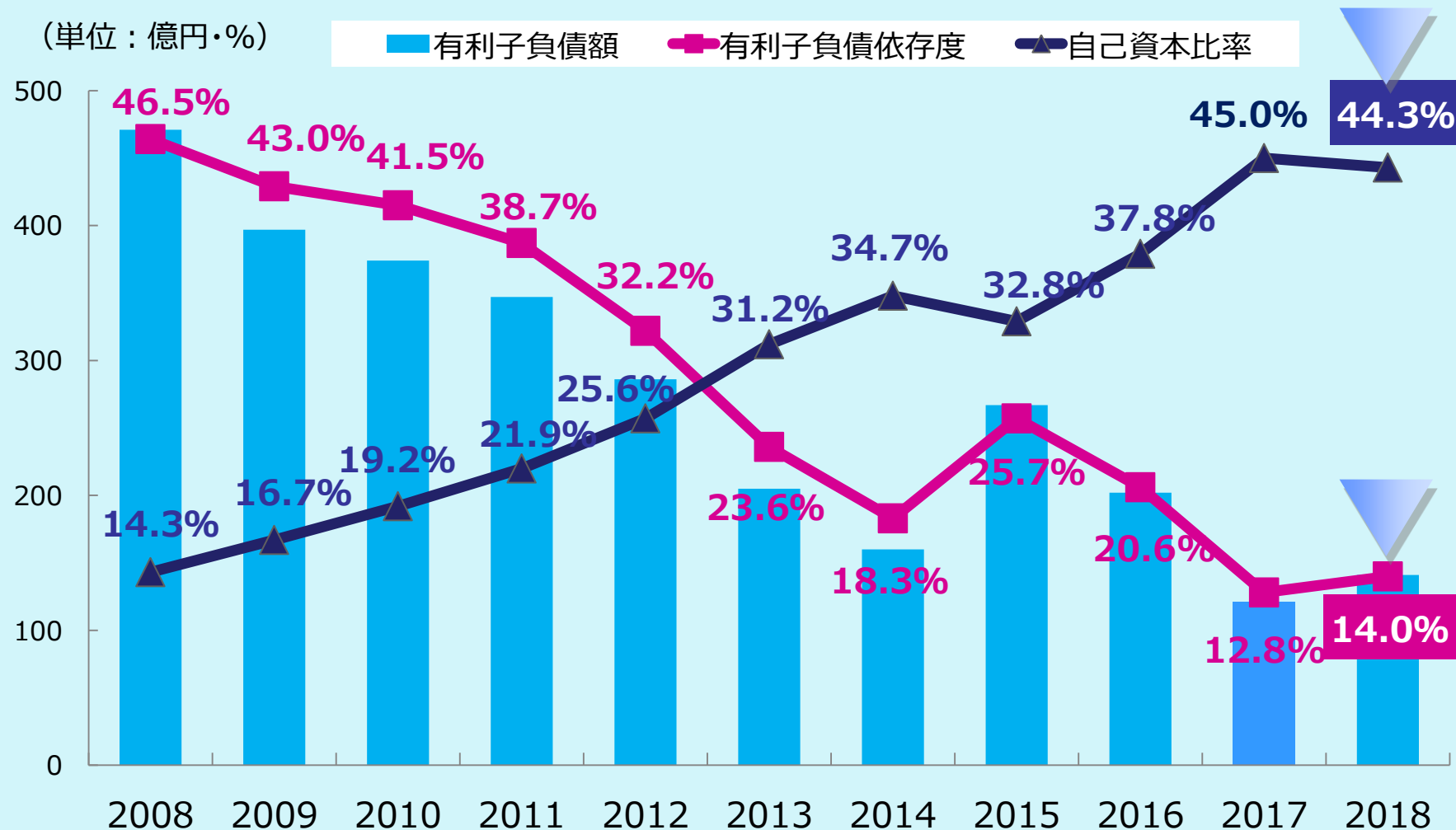
2018年度 上期はコスト増・成長戦略投資を積極的に実施も公表利益に対し
計画通りに推移！！

下期は震災影響により公表利益未達も営業利益率は**4.4%をキープ**°



通期業績（財務状況）

不動産取得により有利子負債が増加、自己資本比率は減少するも
継続して安定的な状況



重点施策

重点施策：売上高拡大～デジタル・シフト

デジタル・シフト



<2018年度の取り組み>

- ・お買物アプリの導入
- ・店舗受取サービスの導入
- ・宅配ロッカーの実証実験の開始



<2019年度の取り組み>

- ・お買物アプリによる顧客戦略を強化
- ・インターネット販売事業と店舗販促の連動を図り、店舗受取サービスを拡大
- ・WEB広告の拡大により、道外顧客にアプローチ

重点施策：売上高拡大～活性化

活性化



<2018年度の取り組み>

・専門店化の活性化

花・・・売上高前年比 約103.0%伸長

ヘルス&ビューティケア・・・

売上高前年比 約101.1%伸長

・滝川店活性化

売上高前年比 約110.6%伸長



<2019年度の取り組み>

・直営店と専門店（SC）連動による活性化

道内の地方中核都市5店舗にて実施

・専門店化の活性化

花やヘルス&ビューティケアなど7店舗にて実施

全体として46件、約18億の投資計画

重点施策：売上高拡大～商品力

ヘルス&ウェルネス

対象の25カテゴリー
売上高前年比

106.4%

イオン道産デー

売上高前年比

104.6%

スポーツサイクル



子どもアスレジャー

大道産デー：生カキ



大道産デー：メロン

重点施策：収益力向上～省人化・省力化

省人化・省力化



<2018年度の取り組み>

- ・新レジの導入～レジ操作の簡易化～
- ・セルフレジの導入を推進
- ・全店スマートフォンへ切替、
災害用トランシーバーアプリ
「アルディオ」を導入



<2019年度の取り組み>

- ・電子棚札の実証実験を開始
- ・新発注システムの導入
- ・日付管理システムの導入



次期の見通し

2019年度 数値計画

単位：億円

計 画

増減率

売上高

1,884

+1.4%

営業利益

84

+2.1%

売比4.5%

経常利益

82

+0.7%

売比4.4%

当期純利益

46

+15.6%

売比2.4%

配当／配当性向

12円 / 27.6%

日々のいのちとくらしを、「夢のある未来」へ。



木を植えています

私たちはイオンです